昭和 58 年 4 月 7 日、384 名の新入生がこの校門をくぐりました。
それから 30 年、この校門を踏み出した卒業生は、9,126 名になりました。
すべての卒業生が、この桜ノ牧で学んだことを生かして自分の人生をしっかりと歩んでいることでしょう。

茨城県立水戸桜ノ牧高等学校同窓会
「水桜会」会報
第1号
発行
茨城県立
水戸桜ノ牧高等学校
同窓会「水桜会」事務局
〒310-0914
茨城県水戸市小吹町2070
tel.029-243-3644
ホームページ
http://www.mitosakuranomaki.com

あいさつ

「水桜会」会長　柏　直樹

このたび、同窓会会報を発行することとなりました。

会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、母校発展のために御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、会員数も、平成二十四年三月現在で九一二六名となりました。会員の皆様が県内、日本中そして世界中で大いに活躍されていることは、大きな喜びであります。

さて、同窓会は、同じ学び舎で喜怒哀楽をともにした先生方や仲間同士の「絆」が基礎ベースであります。

水桜会におきましても、会員同士の交歓、交流が図られ、同窓生の輪が広がり、また、この会報が同輩、先輩や後輩とを繋ぐ架け橋となり、「絆」が一層強められ、交流が深められることを期待しています。

結びに、水桜会発展のために、かわらぬ御支援と御協力をお願いするとともに、皆様のますますの御多幸と御活躍、母校県立水戸桜ノ牧高等学校の更なる発展を祈念し、発行のあいさつといたします。

同窓会報の発行に寄せて

校長　中村　一夫

創立三十周年を契機にして同窓会報が発行されることを、同窓生の皆様とともに喜びたいと思います。また、発行に携わった方々のご尽力に感謝申し上げます。

創立からの十年、それに続く十年、最近の十年、それぞれの時代で学校生活の様子や生徒の気質などに違いがあると思います。三十周年の祝賀会と合わせて行われる大同窓会の集まりでは、同じ年代との交流だけでなく、違う年代の同窓生との交流も楽しんでいただきたいと思います。

時代によって違いがあると申しましたが、創立以来脈々と受け継がれている校風は健在です。部活動においては、関東大会、インターハイ、国体に多くの部が出場して活躍しています。大学進学においても先輩に負けないような実績をあげています。

また、オーストラリア短期留学に二十三名を派遣したり、英語インタラクティブフォーラムで県知事賞を獲得したり、国際理解教育でもがんばっています。今後とも母校への応援をお願いします。

第四回卒業生

鎌田　雅人君

鎌田君は、現在、作曲家、音楽プロデューサーとして活躍しています。去る九月二〇日には、茨城県主催の「先輩からのメッセージ」講演会で、在校生約一〇〇〇人を前に講演及びライブ演奏を行いました。

会報の創刊を記念して、鎌田君にインタビューを行いました。

●どんな高校生活でしたか？

学校では吹奏楽部。外ではバンド活動に熱中してましたね。かなりやんちゃだったし、先生や親にも迷惑をかけたと思いますよ（笑）。

●卒業後の進路は？

プロのミュージシャンになるってきめていたから、東京の尚美学園作曲科に進学したんです。ここは先生もミュージシャンだし、プロになるチャンスがあると思ったんです。学業と並行して、作曲や編曲などの仕事も舞い込んできました。

●大ヒット曲ｈｉｔｏｍｉの「ＬＯＶＥ２０００」のきっかけは？

曲を書いた頃は、バンドを組んでメジャーデビューしていたんです。でも、鳴かず飛ばずで公私ともに行き詰まった時期でした。当時、住んでいた下北沢の風呂なしアパートで、現実に対するいらだちや「なにくそ」っていう反骨心とパンクロックの気分で書き上げたんです。曲調はアップテンポのノリのいいものになりましたけど（笑）。

●ヒットを飛ばしたその後は？

生活は一変しましたね。今までの月給の一〇倍以上の金が毎月入ってくるんです。でも、お金は使えばなくなりますから・・・

本当に得たものは、一流のミュージシャンと素晴らしい仕事ができること。現在はＴＨＥ　ＡＬＦＥＥ、観月ありさ、芦田愛菜などのレコーディングに参加しています。

●最後に桜ノ牧校への思いは？

今でも、車で実家に帰る前に学校をぐるっと一周するんです。そうすると当時の思い出が蘇ってくるんです。僕にとって、水戸桜ノ牧高校は音楽活動の原点ですね。

在校生を前に歌手の初田悦子さんとライブ演奏

第二十二回卒業生

金澤　俊紀君

私は、高校を卒業してから独立行政法人国立病院機構水戸医療センター付属桜の郷看護学校へ進学し、三年間看護について学びました。看護学校卒業後、国家試験に合格し、水戸医療センターの三年目看護師として、日々学びながら働いています。

私が勤務している病棟は、泌尿器科と呼吸器内科の混合病棟で、男性患者がほとんどを占めています。男性看護師は私一人なので女性看護師に言いにくい事などを気軽に話せるような雰囲気を作る等、患者と看護師の懸け橋となれるよう日々心掛けて働いています。また、同期や他病棟の男性看護師と飲み会などをしてストレス発散をしています。大変なことも多いですが、長く続けられるように努力しています。

卒業してから一番変化があったことは、平成二十四年六月に結婚し家族ができた事です。結婚してすぐ二人の子供の親となりました。毎日、叱ったり、笑ったり、学んだりと色々なことがありとても充実しています。まだまだ親としては未熟なので、二人にとって誇らしい親となれるよう心掛けています。本当に結婚してよかったと感じています。

第二十九回卒業生

高坂　裕君

この春、神戸大学国際文化学部国際文化学科に入学しました。大学で出会った友人の中でも意識の高い人と話してみると、彼らが話す内容には深みと幅がありました。彼らが日本や世界の社会問題や歴史、著名な作家の本などから話のエッセンスを得ているのに気付きました。

私が所属する学部の基本路線は多文化共生です。これからはそれに関わる多くの事象を分析し、私なりの意見を表明しなくてはなりません。文化を語るのに歴史を知らない、政治を語るのにその仕組みも知らないなど笑止千万です。相手に自分の意見を納得させるのに、何をもって事を語るのか。このことに今気付くことができました。

思えば、高校時代に担任の先生からいただいた大江健三郎と知識人との往復書簡の文庫も、私には字面を追うことしかできませんでした。知に対し謙虚であり勤勉でありたいと思い、また机に書に向かう日々を送り始めたところです。気付きは築きの第一歩。この気付きのきっかけとなった多くの出会いに、感謝するばかりです。実り多き大学生活になるよう、精進していきたいと思います。

茨城県立水戸桜ノ牧高等学校同窓会「水桜会」役員名簿

会　長　柏　直樹（第1回卒）
副会長　林　太一（第1回卒）
　　和田幾久郎（第2回卒）
理　事　石橋　幸雄（第1回卒）
　　本田　康浩（第1回卒）
　　佐藤　久子（第2回卒）
　　林　弘道（第1回卒）
　　國府田長吉（第2回卒）
会　計　田山　浩之（第5回卒）
監　査　男庭　敏明（第1回卒）

茨城県立水戸桜ノ牧高等学校同窓会「水桜会」会則

第1章　総　則

第1条　本会は、茨城県立水戸桜ノ牧高等学校同窓会「水桜会」とする。

第2条　本会は、本部を茨城県立水戸桜ノ牧高等学校内に置く。

第3条　本会は、会員相互の親睦を図り、本校の発展に貢献することを目的とする。

第2章　事　業

第4条　本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 会員名簿および会誌の発行
2. 会員相互の研修、および本校の行事に対する協力援助
3. その他本会の目的を達成するのに必要と認める事業

第3章　会　員

第5条　本会は、次の会員をもって組織する。

1. 正会員
　ア）本校を卒業した者
　イ）本校にある期間在学した者で、本人が入会を希望し、役員会の承認を得た者
2. 特別会員　本校現教職員および旧教職員

第6条　本会の名誉を損ない、本規約及び総会の決定に違反した者は、役員会の決議によって除名することができる

第4章　役　員

第7条　本会は、次の役員を置く。

1. 会　長　1名
2. 副会長　3名（教頭を含む）
3. 理　事　若干名
　（本校OB職員代表・渉外部OB職員・渉外部係を含む）
4. 会　計　2名
　（同窓生・本校職員）
5. 監　査　2名
　（同窓生・事務長）
6. 校内理事　若干名
　（渉外部係・本校OB職員）

第8条　役員の選出は、次のとおりとする。

1. 会長・副会長・監査は、理事・校内理事で構成する役員選考委員会が正会員の中から推薦し、総会において選出される。
2. 理事・会計・校内理事は、会員の中から会長が委嘱する。

第9条　本会の役員の任務は次のとおりとする。

1. 会長は、本会を代表し、会務をつかさどる。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその代理をつとめる。
3. 理事は、本会の庶務の任にあたる。
4. 会計は、本会の会計の任にあたる。
5. 監査は、会計監査の任にあたる。
6. 校内理事は、役員の活動に協力する。

第10条　本会の運営については、会長の諮問に応えるため、相談役・顧問を置くことができる。

1. 相談役　退任会長
2. 顧　問　在職の校長

第11条　役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第12条　クラス幹事を卒業年次ごとに男女各1名（男子クラスは男子2名）を選出し、クラス幹事から1名の代表幹事を選ぶ。クラス幹事は、役員会の決議に基づき、定められた事項について、役員会に協力しその業務を行う。

第5章　会　議

第13条　総会は、年1回開き、予算・決算・規約改正・その他必要な事項を審議決定する。ただし、緊急を要する事項で、総会を開くことができないときは、役員会の決議によって決定することができる。この場合においては、次期総会において承認を受けるものとする。総会は、役員会の決議によって中止することができる。

第14条　代表幹事会は、相談役・顧問・会長・副会長・理事・会計・監査・校内理事・代表幹事をもって構成し総会に代わる会議とすることができる。

第15条　役員会は、顧問・会長・副会長・理事・会計・監査・校内理事をもって構成し、会長が必要に応じて招集し、本会の重要事項を審議する。ただし、相談役は必要に応じて会長が出席を求める。

第16条　会議は、すべて出席者の過半数をもって決定する。

第6章　会　計

第17条　正会員は、入会の際に終身会費として5，000円を納入する。

第18条　本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第7章　慶　弔

第19条　特に功績があった会員に対して適宜対応する。

第8章　雑　則

第20条　会員で住所の異動等があったときは、本部に報告しなければならない。

第21条　本会は、必要に応じて支部を置くことができる。

附　則

本会則は、昭和61年3月1日から実施する。
平成21年8月14日　一部改正

平成24年度　同窓会会計予算書　（単位：円）

収入				
費目	金額	備考		
繰越金	26,276,997	常陽銀行普通預金 276,997 円 定期預金 26,000,000 円		
入会金	1,560,000	5,000 円× 312 名		
雑収入	20,003	預金利息		
合計	27,857,000			
支出				
費目	金額	備考		
会議費	200,000	総会，役員会，入会式		
事業費	556,000	内訳	卒業証書ホルダー	156,000
			水桜大賞銘板	50,000
			部活動激励費	300,000
			その他	50,000
大同窓会関係費	2,231,580	内訳	受取人払い郵便料金 @65 円	515,580
			大同窓会補助費 @3,000 円	1,200,000
			記念誌代 @430 円	172,000
			記念品代 @360 円	144,000
			その他	200,000
印刷・通信費	220,000	同窓会会報 150,000 円，通信費 50,000 円，入会式パンフ等		
渉外費	50,000	新聞広告掲載料等		
事務費	70,000	HP 関係費・消耗品等		
慶弔費	50,000			
予備費	24,479,420	内 20,000,000 円は定期預金として積立		
合計	27,857,000			
積立金				
定期預金	20,000,000	内訳	水戸信用金庫見和支店	10,000,000
			県信用組合千波支店	10,000,000
			常陽銀行千波支店	0

※これまで常陽銀行千波支店に定期預金として積み立てておいた 6,000,000 円は大同窓会関係費のために解約して普通預金とする。

SUIO NEWS 平成24年度前期

SPORTS

剣道部
関東高校剣道大会　茨城県予選
女子個人　優勝　中島　千佳
全日本都道府県対抗　女子剣道大会
優勝　茨城県チーム
（先鋒　中島　千佳）
国民体育大会「ぎふ清流国体」
少年女子の部　第5位
茨城県チーム（先鋒　中島　千佳）

陸上部
全国高校総体県予選　兼　茨城県高等学校陸上競技対校選手権大会
男子　総合　3位
200m　3位　井川　裕輔
4×100mリレー　1位
立原　聡之、井川　裕輔、黒田　修平、宮川　朋也
走高跳　2位　伊藤　真尚
棒高跳　2位　根本　洸介
女子　総合　5位
4×400mリレー　3位
山本　温子、成田　泉穂、寺門なずな、石井ゆりこ
走高跳　1位　石井ゆりこ
七種競技　1位　石井ゆりこ
他　13種目　25名
関東高校陸上競技大会出場
全国高等学校総合体育大会出場
走高跳・七種競技　石井ゆりこ

水泳部
国民体育大会「ぎふ清流国体」
水泳競技大会出場
〈男子少年B〉
400mフリーリレー
第4泳者　堆　裕貴
茨城県高等学校新人水泳競技大会
〈男子〉自由形50m
堆　裕貴　2位

サッカー部
全国高校総体茨城県大会　ベスト8
国民体育大会「ぎふ清流国体」出場
少年の部　茨城県チーム
（飯村　惣駿　・　根本　将）

CULTURE

演劇部
平成24年度高校演劇祭県央地区大会
優良賞
さらだたまご作「ダラシの実」

書道部
弘法大師奉賛　高野山競書大会
南山賞　3年　清水沙也香

吹奏楽部
東関東吹奏楽コンクール　銅賞

国際教育
インタラクティブフォーラム県大会
茨城県知事賞　田中　麗菜

野球部
全国高等学校野球選手権茨城県大会
ベスト8

卓球部
全国高校体育総体卓球大会県予選会
ダブルス（女子）助川・國安組
ベスト8

ハンドボール部　女子
関東高校ハンドボール選手権大会
茨城県予選会　ベスト8
全国高校総体茨城県予選会
ベスト8

弓道部
秋季県大会　男子団体2位
五位渕・鹿熊・山崎

進路状況

本年度状況

国公立大学（99人）
東北、東京工業、東京外国語、首都大学東京、筑波、茨城、埼玉、千葉、宇都宮、信州、神戸、茨城県立医療、千葉県立保健医療、横浜市立　ほか

私立大学（477人）
早稲田、慶応、上智、明治、青山学院、立教、中央、法政、日本、明治学院、東洋、駒沢、専修、獨協、國學院、東京理科、芝浦工業、同志社、立命館　ほか

短期大学（9人）
常磐、青山学院、上智、東京家政

指定校推薦枠（116大学）
青山学院、中央、法政、東京理科、明治学院、東京薬科、成蹊、成城、日本、専修、同志社、芝浦工業、女子栄養、東京家政、東京農業　ほか

就職（5名）
茨城県警、消防、民間

編集後記

関係各位の御協力のお陰で無事第一号を発行することができました。この場を借りてお礼申し上げます。表紙を撮影した時の在校生の元気な姿が印象的でした。今後も会報が二号、三号と発行されていくことを願ってやみません。

（編集委員一同）